

男女共同参画社会における市民意識調査

市民のみなさまには日頃から、市政の推進に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、三原市では、男女が互いに人権を尊重しつつ、性別にとらわれることなく、それぞれの個性や能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいるところです。

そこで、市では男女共同参画プラン（第3次）策定にあたり、市民のみなさまに男女共同参画社会に対するお考えやご意見などを把握するため「市民意識調査」を実施することとしました。

この調査は、市内にお住まいの満18歳以上（平成28年9月1日現在）の方から、男女各1,000人を無作為に選ばせていただきました。この調査には、あなたのお名前を書いていただく必要はありません。また、ご回答いただいた調査内容は、今後の男女共同参画施策を推進していくための資料として利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることはありません。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年10月

三原市

ご記入にあたってのお願い

1. この調査は個人を対象としていますので、あなたご自身の判断で記入してください。
2. お答えは、設問ごとに、（1つに○）（○はいくつでも）など、それぞれ指定していますのでご注意ください。「その他」にあてはまる場合には、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
3. ご記入いただいた調査票は、無記名のまま 11月3日（木）までに同封の返信用の封筒に入れ、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。
4. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

三原市生活環境部 人権推進課

TEL：0848-67-6044

FAX：0848-67-6199

※質問の該当する番号に○をつけ、「その他」を選択した場合は（ ）内に具体的に
ご記入ください。

あなたご自身のことについてお聞きします

問1 あなたの性別(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢(1つに○)

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳以上 | |

問3 あなたのお住まいの地域(1つに○)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 本郷町 | 2. 久井町 | 3. 大和町 | 4. 旧三原市 |
|--------|--------|--------|---------|

問4 あなたは結婚していますか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|----------|-------|
| 1. 既婚(事実婚を含む) | 2. 死別・離婚 | 3. 未婚 |
|---------------|----------|-------|

問5 あなたの家族構成はどれですか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 核家族(親と未婚の子ども) | 4. 2世代世帯(親と子ども夫婦) |
| 5. 3世代世帯(親と子と孫) | 6. その他() |

<問4で、「1. 既婚(事実婚を含む)」と回答した方にお聞きします。>

問6 就労形態についてお答えください。(それぞれ1つに○)

問6-1 (夫)

- | |
|-------------|
| 1. フルタイム勤務 |
| 2. パートタイム勤務 |
| 3. 無職 |
| 4. 自営業 |
| 5. その他() |

問6-2 (妻)

- | |
|-------------|
| 1. フルタイム勤務 |
| 2. パートタイム勤務 |
| 3. 無職 |
| 4. 自営業 |
| 5. その他() |

家庭における男女共同参画についてお聞きします

問7 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどのようにお考えですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|----------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. わからない |
| 4. どちらかという反対 | 5. 反対 | |

問8 次のことがらについて、主に誰が担当するのが「理想」だと思いますか。未婚の方は「もし結婚したらどうしたいか」でお答えください。(○は①～⑥それぞれ1つだけ)

【理想】	夫が中心	妻が中心	夫と妻と同程度	祖父母が中心	家族	その他
① 家事全般	1	2	3	4	5	6
② 家計のやりくり	1	2	3	4	5	6
③ 貯蓄・投資信託	1	2	3	4	5	6
④ 子どもの教育方針	1	2	3	4	5	6
⑤ 高齢者の介護や病人の介護	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会の活動	1	2	3	4	5	6

<問4で、「1. 既婚(事実婚を含む)」と回答した方にお聞きします。>

問9 次のことがらについて、現実にはどなたが分担していますか。(○は①～⑥それぞれ1つだけ)

【現実】	夫が中心	妻が中心	夫と妻と同程度	祖父母が中心	家族	その他
① 家事全般	1	2	3	4	5	6
② 家計のやりくり	1	2	3	4	5	6
③ 貯蓄・投資信託	1	2	3	4	5	6
④ 子どもの教育方針	1	2	3	4	5	6
⑤ 高齢者の介護や病人の介護	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会の活動	1	2	3	4	5	6

<問4で、「1. 既婚(事実婚を含む)」と回答した方のうち、お子さんのいらっしゃる方にお聞きします。>

問10 あなたのご家庭では、次のような子どもの世話は、主にどなたがしていますか。

(○は①～⑦それぞれ1つだけ)

	夫が中心	妻が中心	夫と妻と 同程度	祖父母が 中心	家 族	その他
① 育児(乳児・幼児)	1	2	3	4	5	6
② 学校の成績(勉強)	1	2	3	4	5	6
③ 進学・進路	1	2	3	4	5	6
④ 学校行事への出席	1	2	3	4	5	6
⑤ 生活態度のしつけ (言葉づかい, 服装など)	1	2	3	4	5	6
⑥ 子どもとの遊び	1	2	3	4	5	6
⑦ 生き方の相談	1	2	3	4	5	6

<この設問は、全ての方にお聞きします。>

問11 結婚, 家庭, 離婚に関する次のような意見についてどのように思いますか。

(○は①～③それぞれ1つだけ)

	賛 成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反 対	わから ない
① 結婚は個人の自由であるから, 結婚 してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
② 結婚しても必ずしも子どもを持つ 必要はない	1	2	3	4	5
③ 結婚しても相手に満足できないと きは離婚すればよい	1	2	3	4	5

就労や職業生活についてお聞きします

問12 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。(1つに○)

1. 女性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは、職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい
5. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
6. その他 ()

問13 あなたの就労状況は次のどれですか。(1つに○)

1. 最初の仕事を続けている
2. これまでに働いたことがない
3. 仕事をやめたり、中断したり、転職したことがある

→ 問13-1に
お答えください。

<問13で「2」または「3」と回答した方にお聞きします。>

問13-1 それはどのような理由からですか。(○はいくつでも)

1. 結婚のため
2. 出産・育児(出産休暇・育児休暇を除く)のため
3. 親や病気の家族の世話をするため
4. 配偶者の転職のため
5. 家族の理解・協力が得にくいから
6. 自分の健康や体力的問題のため
7. 長期勤務しにくい職場の雰囲気のため
8. 労働条件に対して不満があったから
9. 仕事の内容が合わなかったから
10. 会社側の都合のため
11. 大学に行ったり、資格を取ったりするため
12. 家業につくため
13. 高齢になったから
14. よりよい条件の仕事があったから
15. その他 ()

問14 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。(1つに○)

1. たいへん働きやすい状況にあると思う
2. ある程度働きやすい状況にあると思う
3. あまり働きやすい状況にあるとは思わない
4. 働きやすい状況にあるとは思わない

問14-1 あなたは、女性が出産後離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭、社会、職場において必要なことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護支援サービスの充実
3. 家事・育児支援サービスの充実
4. 男性の家事参加への理解・意識改革
5. 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
6. 働き続けることへの女性自身の意識改革
7. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
8. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
9. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
10. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
11. その他 ()

男女平等に関する教育についてお聞きします

問15 あなたは、現在の学校教育における男女平等に関する教育について、どのようにお考えですか。(1つに○)

1. 十分行われていると思う
2. どちらかというに行われていると思う
3. どちらかというに行われていないと思う
4. 十分に行われているとは思わない
5. わからない

問16 今後、男女平等を推進していくために、特に小・中・高等学校で行うとよいと思うものはどれですか。
(○はいくつでも)

1. 男女平等に関する教職員研修を行う
2. 校長や教頭に女性を増やしていく
3. 学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする
4. 生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を活かせるよう配慮する
5. 現在男女必修で行われている家庭科をはじめとして、男女平等の意識を育てる授業をさらに充実する
6. 健全な異性観を育てるための性教育の充実に努める
7. 出席簿、座席、ロッカーの順番など、男女を分ける習慣をなくす
8. 保護者会などを通じ、男女平等教育への保護者の理解を深める
9. その他 ()

社会生活における男女共同参画についてお聞きします

問17 あなたは今までに、地域活動や地域行事に参加したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 参加したことがある | -----▶ 問17-1にお答えください。 |
| 2. 参加したことはない | -----▶ 問17-2にお答えください。 |

<問17で「1」と回答した方にお聞きします。>

問17-1 それは、どんな地域活動や地域行事ですか。(○はいくつでも)

1. 自治会・町内会の活動
2. 盆踊りやお祭りなどの催し
3. 運動会・スポーツ大会・レクリエーション活動
4. 防犯や交通安全のための活動
5. 防災活動
6. 廃品回収
7. 道路や公園の清掃などの環境美化活動
8. 子ども会や少年スポーツチームの指導
9. 高齢者や障害者へのボランティア活動
10. 消費者・人権・平和・環境保全などの市民活動
11. 行政の各種委員会のような活動
12. 政治活動
13. 趣味の講習会やサークル活動
14. 教養を高めるための講演会や講座
15. 地域の歴史や伝統芸能の保存
16. その他 ()

<問17で「2」と回答した方にお聞きします。>

問17-2 これまで、地域活動に参加したことがない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 一緒に参加する仲間がない
2. 近くに適当な施設がない
3. 自分の参加したい活動がない
4. 地域で行っている活動の詳しい情報が得られない
5. 時間帯が合わない
6. 参加するきっかけがつかめない
7. 仕事が忙しい
8. 子どもの世話がある
9. 子どもを安心して預けられるところがない
10. 家族の協力が得られない
11. 高齢者や病人の世話がある
12. 健康に自信がない
13. 人間関係がわずらわしい
14. その他 ()

問18 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる
4. 年配者や周りの人が、夫婦の役割分担についての当事者の考え方を尊重する
5. 男性が家事、子育て、介護、地域活動などに関わることについて、社会的評価を高める
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及し、仕事以外の時間を多く持てるようにする
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動などに関心を高めるように、啓発や情報提供に力を入れる
8. 男性の家事、子育て、介護などに関わる技能を高める講習会などを開催する
9. 子育て、介護、地域活動などに関わる男性の仲間（ネットワーク）づくりを進める
10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける
11. その他 ()

健康や福祉に関することについてお聞きします

問19 現在、あなたの家族に介護が必要な方がおられる場合、その方の介護は主にどなたが行っていますか。介護が必要な方からみた続柄でお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|--------------|------------|
| 1. 配偶者 | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子どもの夫 | 5. 子どもの妻 | 6. その他の親戚 |
| 7. ヘルパー等の専門家 | 8. 施設で介護している | 9. その他 () |
| 10. 介護が必要な人はいない | | |

問20 あなた自身に介護が必要となった場合、主に誰に介護をしてほしいですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 配偶者 | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子どもの夫 | 5. 子どもの妻 | 6. その他の親戚 |
| 7. ヘルパー等の専門家 | 8. 施設を利用する | 9. その他 () |

問21 あなたは、健康診断やがん検診を受けていますか。(1つに○)

- | |
|-------------------|
| 1. 毎年定期的に受けている |
| 2. 2～3年に1回程度受けている |

- | |
|---------------|
| 3. ほとんど受けていない |
| 4. まったく受けていない |

→ 問21-1にお答えください。

<問21で「3」または「4」と回答した方にお聞きします。>

問21-1 受診していないのはなぜですか。(1つに○)

- | |
|--------------------|
| 1. 忙しくて受診する時間がないから |
| 2. どこも悪くないから |
| 3. 医者にかかっていたから |
| 4. 受診方法を知らないから |
| 5. 結果が怖いから |
| 6. 料金が高いから |
| 7. 受診するのがはずかしいから |
| 8. その他 () |

男女の人権に対する問題についてお聞きします

問22 職場や学校での性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)が男女の人権を侵害する問題として注目を集めています。次のうちで、あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 地位や権限を利用して、性的な関係を迫る
2. さわる、抱きつくなど肉体的接触をする
3. 性的冗談や質問、冷やかしの言葉をかける
4. ノードポスターやわいせつな本、性的ジェスチャーを見せて、からかう
5. 宴席で、お酌やデュエット、ダンスを強要する
6. 結婚予定や出産予定をたびたび聞く
7. 目につきやすいところにノードポスターやカレンダーなどを掲示する
8. じろじろ見たり、容姿のことを話題にする
9. 「異性関係が派手だ」などと性的な噂を流す
10. その他 ()

問23 最近、配偶者・パートナー間での暴力が問題となっていますが、身近で見聞きしたことがありますか。(1つに〇)

1. 命の危険を感じるほどの暴力を受けたことがある
2. 医師の治療が必要となるほどの暴力を受けたことがある
3. 医師の治療が必要ない程度の暴力を受けたことがある
4. 身近に暴力を受けたりふるったことのある当事者がいる
5. 身近な人から相談を受けたことがある
6. 見聞きしたことはない

問23-1に
お答えください。

<問23で「1」～「5」と回答した方にお聞きします。>

問23-1 これまでに暴力について誰かに打ち明けたり、相談したことはありますか。(〇はいくつでも)

1. 警察に連絡・相談した
2. 公的な相談窓口や電話相談に相談した
3. 民間の機関(弁護士など)に相談した
4. 医師・カウンセラーに相談した
5. 家族や親戚に相談した
6. 友人・知人に相談した
7. その他 ()

8. 誰(どこ)にも相談しなかった

問23-2にお答えください。

<問23-1で「8」と回答した方にお聞きします。>

問23-2 どこにも相談しなかった理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 仕返しが怖い | 2. 相談するところがわからなかった |
| 3. 言いたくない | 4. 恥ずかしい |
| 5. 言っても解決しない | 6. 子どものため |
| 7. 関わりたくない | 8. その他 () |

問24 あなたは、配偶者の暴力をなくすためにどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 被害者が駆け込める緊急避難所（シェルター）を整備する |
| 2. 身近な地域に相談できる窓口があること |
| 3. 被害者のための相談機関や保護施設を整備する |
| 4. 家庭・学校における男女平等や人権についての教育を推進する |
| 5. 被害者が自立して生活できるよう支援する（就業支援・住宅確保など） |
| 6. 暴力をふるう加害者向けの更生プログラムや相談窓口を設けるなどの対策を推進する |
| 7. 被害者の心身の健康に関するケア |
| 8. その他 () |

男女共同参画の実現についてお聞きします

問25 あなたは、政策・方針決定の過程に女性があまり進出していない理由は何だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. 家庭・地域・職場における性別役割分担があるから |
| 2. 男性優位の組織運営になっているから |
| 3. 家族の支援・協力が得られないから |
| 4. 女性の能力発揮の機会が不十分だから |
| 5. 女性の活動を支援するネットワークが不足しているから |
| 6. 女性側の積極性が十分でないから |
| 7. その他 () |

問26 近年、防災や災害復興について女性の視点を取り入れていくことが重要となっています。あなたは、今後行政や地域において、特に力を入れて取り組んだ方がよいと考えるのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 防災計画や復旧・復興計画の計画づくりへの女性の参画を促進する |
| 2. 行政の防災担当者に女性を増やす |
| 3. 消防団員に女性を増やす |
| 4. トイレや着替えの問題など、男女のニーズの違いを把握して災害の予防や復旧にあたる |
| 5. 被災地でのボランティアに女性を増やす |
| 6. 地域において、女性の防災組織・リーダーを育成する |
| 7. 地域において、ひとり暮らしの高齢者などの誘導方法を事前に検討する |
| 8. 地域において、防災訓練をする |
| 9. その他 () |

問27 あなたは、次の①～⑦の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをそれぞれ答えてください。(○は①～⑦それぞれ1つだけ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている
①家庭生活	1	2	3	4	5
②職場	1	2	3	4	5
③学校教育の場	1	2	3	4	5
④政治の場	1	2	3	4	5
⑤法律や制度の上	1	2	3	4	5
⑥社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5
⑦社会全体	1	2	3	4	5

問28 男女共同参画社会の実現を目指し、三原市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 男女共同参画の視点から慣習の見直しや啓発を進める
2. 政策や方針決定過程への女性の参画を拡充する
3. 就労における男女機会均等や就業環境の整備を進める
4. 子育て・介護に関する多様な支援を拡充する
5. 男女共同参画の視点に立った教育や学習を進める
6. 女性に対する暴力を根絶するための支援を促進する
7. 女性のための相談を充実する
8. 男性への意識啓発および相談を充実する
9. 生涯を通じた女性の健康保持を支援する
10. 国際交流・国際協力に男女がともに参画できるよう支援する
11. その他 ()

問29 その他、男女共同参画社会の実現について、ご意見等があればご記入ください。

調査はこれで終わりです。ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、11月3日(木)までに投函してください。